

テーマ：『 地域の自然調査活動を通じた環境教育の取り組みⅡ 』

福岡市立 若久小学校

Tel. 092-541-4210

担 当 黒川 和子

者：



■実践内容：

若久小学校5年生は、総合的な学習の時間を主に使いながら、身近な生物の調査・観察を行った。まず、「わたしの木」を決め、1年間、調査・観察することにした。また、その木の周りの様子を観察していく中で、自分の課題を明らかにしていった。次に校庭の自然の様子を観察と同時に、自分の地域や校区外での自然の様子はどうかという視点を広げていった。そこで、水生生物、植物、昆虫の3つのコースに分かれ、生物の種類や数、様子を調査・観察していった。4月から10月にかけては、若久小校区内を中心に調査・観察した。11月には自然教室を行う予定の篠栗地区の自然環境調査を行い、校区内の自然環境と比較することで、地域による自然環境の違いに気づかせるようにした。

■実践成果：

「わたしの木」を基点として、周りの様子に目を向け、校区、地域、篠栗へと視野を広げたり比べたりすることができた。その調査・観察を通して、自然に対する関心が高まり、若久校区内でも自然を大切にしていかなければならないという思いを持つようになってきた。また、11月の篠栗の自然調査にも意欲を高めることができ、子どもが課題意識を持つことができた。これまでの調査・観察を通して、観察する力や情報を収集する力など自然調査能力が高まってきた。

■実践ポイント：

一人一人の課題づくりのために「わたしの木」をじっくりと観察し、気づきや疑問を出して考えていく時間を多くとつ

た。その課題については、教師が子ども一人一人に細やかな助言をしながら、調べていく際の支援を行った。